

岡崎先生の巻頭言にもあるように、自己免疫性膵炎(autoimmune pancreatitis; AIP)は、わが国から発信された疾患概念である。川、神澤ら、藤森らの論文にも述べられているように、当初は日本と他国との診断基準などの違いがあったが、その後、1型、2型に分類されること、膵病変および膵外病変が存在することなど、国際的にも認知されるようになり、その疾患の概念・病態もより詳細に検討できるようになった。診断・治療法についても、診断基準と治療指針の国際的なコンセンサスが得られ、国内の診断基準も国際基準を意識し準拠し、同じ土俵で議論ができるようになったことは喜ばしいことである。AIPの発生機序等については、本号にもあるようにまだ未知のことが多く明らかとはなっていないが、その解明は着実に進んでいることが、能登原、塩川らの論文に述べられている。CT、MRI、EUSの典型像や、EUS-FNAによる診断の現状については、井上ら、岩井らの論文で十分に解説されている。臨床的に問題となるIgG4関連硬化性胆管炎と原発性硬化性胆管炎の鑑別は、治療法、予後も異なるため項目立てし、内藤らに詳述していただいた。AIPの治療適応は、臨床的に有症状例がその適応となり、初期治療はステロイドPSL 0.6 mg/kg/dayで開始し、漸減するように「自己免疫性膵炎診療ガイドライン 2013」に定められている。滝川らは、その後のステロイド維持療法が大切で、中止群では再発率が高いことを強調している。平野らは、ガイドラインの3年の維持療法では不十分であることを述べており、癌化症例の報告もあり、今後長期管理の方法を見直すべきと述べている。

以上のように本号は、AIPの現状と将来展望を詳述できたものと確信している。最後に、日頃の日常臨床の一助になることを期待して本号の編集後記とさせていただきます。
(木田 光広)

臨牀 消化器内科® Vol. 33 No. 2

©2018 年 1 月 20 日発行

定価(本体 2,750 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2018. Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY® <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791